

子ども達の
個性にあった
指導を実現。



NOCC教育検査とは

NOCC教育検査の目的

自分に合った学習方法や能力の鍛え方・努力の仕方をわかるには、まず自分を知ることから始めましょう。

強み・弱みを知ったうえで、どのような環境・方法が適しているかがNOCCでわかります。



Q. お子様と関わるときにこんなお悩みはありませんか

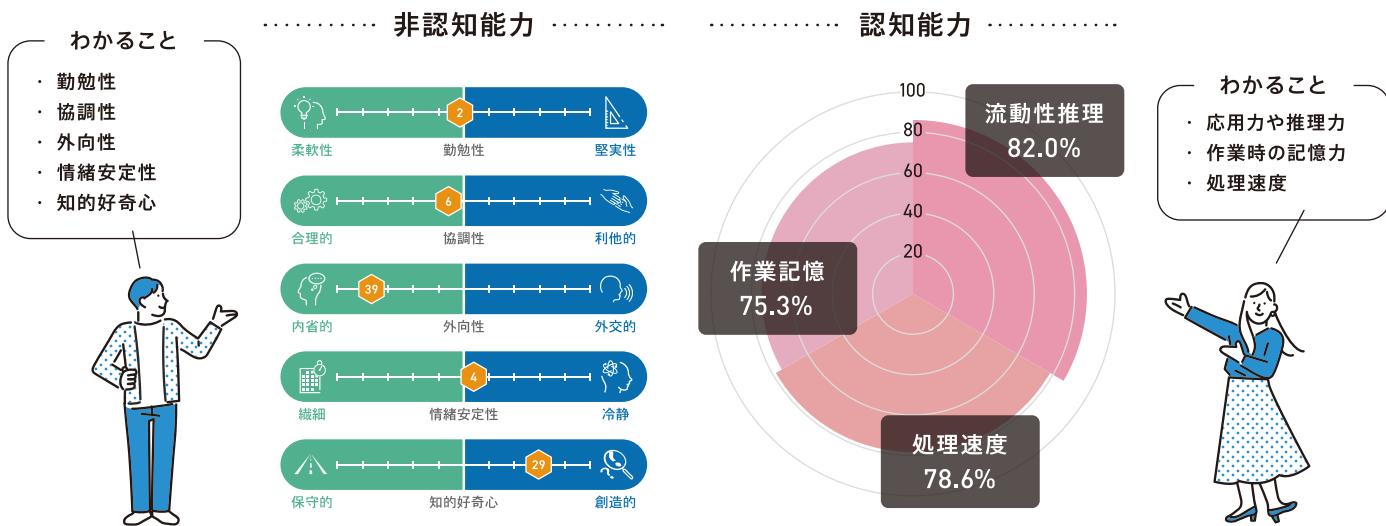
- どうやったら集中して勉強してくれるの？
- 計画立てて進めてほしいが、上手いかわない。
- 褒め方・叱り方はこれで正しいの？

お子様の性格特性を科学的根拠に基づいて把握することで、お子様に適した指導がわかります。

ご希望の方には、結果をもとにお子様の学習方法や保護者様のご家庭での学習管理のしかたなどを詳しくアドバイスさせていただきます。

検査でわかること

人は様々な能力（認知能力・非認知能力）の組み合わせによって、それぞれの性格特性ができあがっていると考えられています。

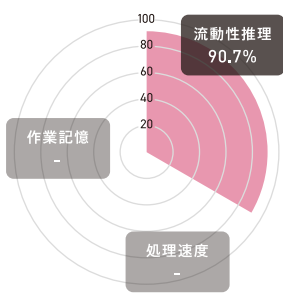
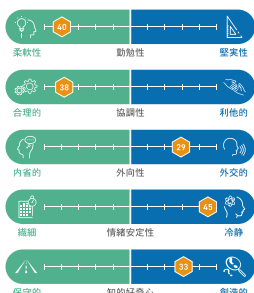


お子様の特性を細かく把握することで、1人1人に合った指導をご提案できます！



診断結果からの具体的な指導案

Aさんの検査結果



Aさんの強み

- ④ 自分の意見をしっかり持ち、競争心が強い
- ④ 様々なことに興味を持つことができる
- ④ 理解力がある

Aさんの弱み

- ④ 楽観的で準備不足になることも
- ④ やらなければならないことを後回しにしがち

Aさんへの指導案

- ④ 勉強の進め方についての意見を聞いたうえで、一緒に学習計画を立てていきます！
- ④ こまめな進捗確認と学習管理を徹底します！

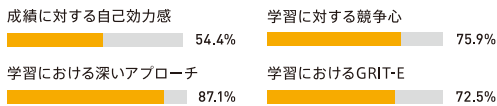


状態と傾向

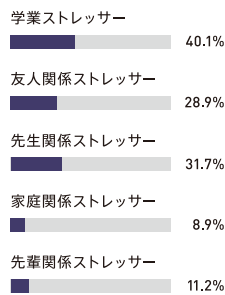
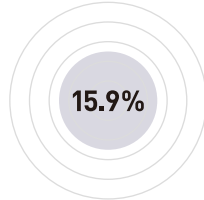
ストレス・サポート環境

項目の説明

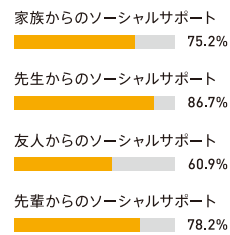
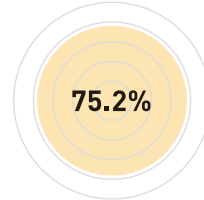
- 成績に対する自己効力感
どれだけの成績を取れると思っているか
- 学習に対する競争心
競争心を持って学習に取り組むかどうか
- 学習における深いアプローチ
学習を様々なものと結びつけ、自分から探求していくかどうか
- 学習におけるGRIT-E
学習内容の好き嫌いに関わらず、どれだけ忍耐強く続けられるか



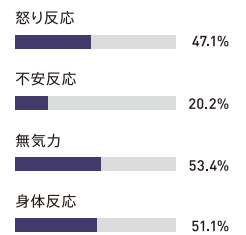
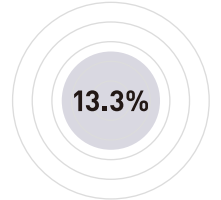
ストレッサー



ソーシャルサポート



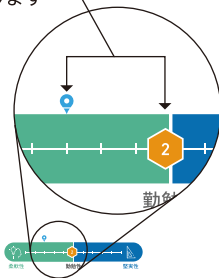
ストレス反応



保護者など第三者の検査で

得られるもの

お子様の特性と保護者様のお子様像のギャップがわかります



ギャップ検査

ギャップ検査によって保護者様がお子様の性格特性をどう捉えているかがわかります。お子様の性格特性に合った接し方や学習管理の仕方がわかります。

提案

褒め方叱り方などの接し方・課題管理の仕方や最適な環境のご提案をします。

褒め方叱り方などの接し方(例)

何かを教える際は、そういうものだと教えるのではなく、なぜそうなのかといった理由を教えるようにしましょう。新しい情報を知ることが好きなので、そこからさらに繋げることができるでしょう。

保護者の声

満足度 **86%**

(2020年8月実施 アンケート結果)

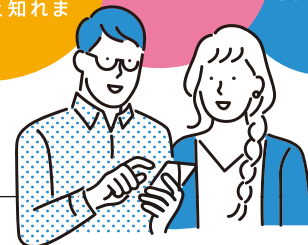
子どもにはこうあってほしいという親のこれまでの習慣にとらわれていたことに気づきました。

子どもの特性をわかっている方が、対処しやすいと思いました。

兄弟間でもそれぞれに合った褒め方・叱り方があるのだと知れました。

日頃の接し方を見つめ直すことができました。

親子間のギャップを知れて良かったです。



■ 受検者数

2021年3月末時点

50,000人突破

1学年1,000名規模の学習塾で、NOCC教育検査を受けたグループは、受けていないグループに比べて、1年後の偏差値が平均2.79pt高くなったという効果も!

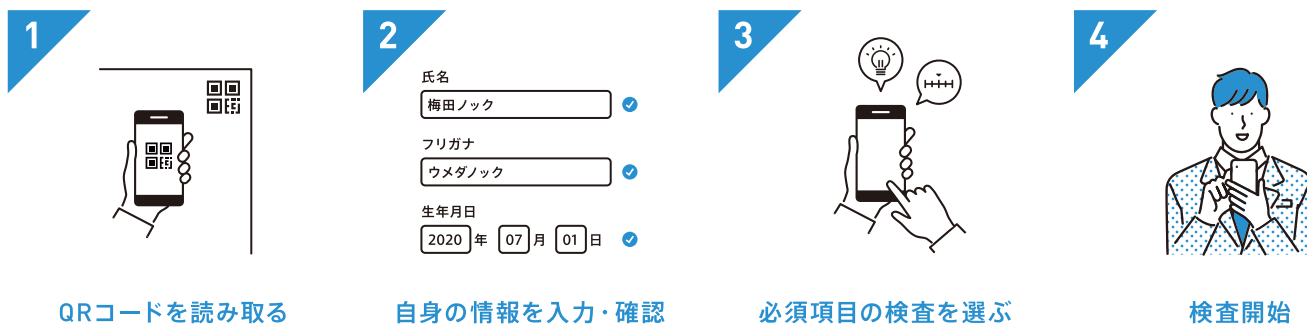
■ 行政からの採択



検査の受け方と項目

受検方法

インターネットにお繋ぎいただけるPCやスマホ・タブレットで検査を受けることができます。



項目について

検査名	所要時間	検査結果でわかること
基本検査	約10分+約15分	どういった性格特性を持っているのか
追加検査A	約10~40分	勉強へのモチベーションや勉強に取り組む姿勢など
追加検査B	約10分	何に対してストレスを感じているのか、またそのストレスの原因
保護者検査	約10分	保護者の悩みやニーズ、保護者・第三者がお子様をどう見ているか